

「上越地域在宅栄養ケア研修会」が開催されました

～ケアマネと栄養士と一緒に考えよう～



2017年12月13日

上越地域在宅栄養ケア研修会

さる12月13日オーレンプラザ ホールにて開催しました。

今年度は、ケアマネジャー及び栄養士を対象に、地域での栄養ケアの課題や、低栄養、栄養改善の視点、多職種連携の必要性等を学ぶとともに、顔の見える関係づくりを目的とした研修会を開催しました。

参加者は、ケアマネ129名、栄養士18名と大勢の参加がありました。

○研修会内容

1. 話題提供

「アンケートの結果から見えてきたもの」
上越地域居宅介護支援事業推進協議会

2. 報告「訪問栄養指導事業が始まりました」 新潟県栄養士会 上越支部

3. 講義

「在宅療養高齢者の栄養状態およびその改善における課題について」株式会社政策基礎研究所 主任研究員 大塚理加先生

4. グループワーク

「事例をとおして私たちができることを一緒に考えよう」

5. 助言(まとめ) 主任研究員 大塚理加先生
以上の内容で開催致しました。

アンケート結果から

【ケアマネジャーが課題と感じていること】

◆訪問栄養指導を相談したい時に、まずどこに相談したら良いのか？（主治医の同意を得るには、ハードルが高い、家族の経済的な問題など）

◆低栄養を早期にきづくポイントは？（栄養アセスメントの仕方など）

【管理栄養士が課題と感じていること】

◆生活全般が見えることで、本人・家族により添った訪問栄養食事指導に繋げることができるとでないか。

◆是非、キーマンであるケアマネと顔の見える関係をつくることができ、情報を共有していきたい。

(まとめ)

ケアマネと栄養士との合同研修会を開催することができ、顔の見える関係、多職種連携に繋げることができました。

ご協力頂きました上越在宅医療推進センターに感謝致します。

